

～ 「ひと」が中心「区民」が主役 ～

目的

誰一人取り残さない、個に寄り添った「最大多様・最大幸福」のサービスを提供し、ひとがいきいきと輝き、幸せで、心身ともに健やかに暮らせる都市（まち）の実現をめざす。

視点

- 乳幼児期から高齢期のすべての世代を対象とする。
- 個に応じた選択肢を提供する。
- 自己肯定感醸成のための「安心な居場所と活躍のための出番」を創る。
- 世代や属性を超えたニーズや課題を受け止め、必要な事業や機関につなぐ。
- ICT等の先端技術を活用する。

内容

- 子育て・教育、健康長寿など区民のウェルビーイング（Well-being※）につながる様々なプロジェクトや事業を展開する。
- 区民のウェルビーイング（Well-being）につながるプロジェクトや事業を検証して、世代や属性別に体系化・データベース化し、南区役所内関係機関で共有する。
- 広報媒体を活用した事業参加・健診受診に係る勧奨や現行事業の見直し・強化などによって、区民の関心や課題意識を高める。
- 区民それぞれのニーズや課題に応じてウェルビーイング（Well-being）の実現をサポートするため、南区役所内関係機関がデータベースから事業・サービス等をプログラムとして区民に提供する。

※ **ウェルビーイング（Well-being）**：「良くあること」「幸福」など。南区では、区民にとって、生活が幸せで満足できる状態、また、自分らしく生きがいを感じて暮らすことができる状態を表現する言葉として使用します。

子育て・教育、健康長寿などにおける 南区ウェルビーイング（Well-being）総合プロジェクト（案）

イメージ図

目的：すべての南区民がいまいきいきと輝き、幸せで、心身ともに健やかに暮らせる都市（まち）の実現

南区民のウェルビーイング（Well-being）につながる様々なプロジェクトや事業を展開

事業・サービスを体系化・データベース化
&
南区役所内関係機関で共有

区役所窓口などで、関係機関が区民のニーズや課題に応じて
上記データベースから事業・サービス等をプログラムとして提供

南区民	情報、参加・利用の必要のない方
	自身で事業の情報を収集でき、積極的に参加・利用する方
	参加・利用しようと思っていない方
	参加・利用に否定的でない方・先延ばしにしている方・迷っている方

現行事業の見直し・強化

リニューアル事業 新規事業

関心や課題意識を
高める取組

南区民へのアプローチ

広報媒体を活用した
事業参加・健診受診の勧奨

関心や課題意識を
高める取組

南区民による事業への関心や課題意識の向上、事業への参加・健診の受診・サービスの利用拡大など